

千葉県医療介護総合確保促進会議 開催結果

- 1 日 時 平成30年8月31日(金) 午後6時30分から7時25分まで
- 2 場 所 千葉県教育会館新館501会議室
- 3 出席委員
伊豆倉委員、廣岡委員、上原委員、川嶋委員、吉田委員、梶原委員、山本委員、
鶴岡委員、鈴木委員、井上委員、平山委員、林委員、松下委員、菊地委員、
松岡委員、砂川委員、眞鍋委員、澤田委員、田中委員、齋藤委員、小林委員
- 4 会議次第
 - (1) 開 会
 - (2) あいさつ
 - (3) 議事 ①平成29年度に実施した千葉県計画の事後評価について
②平成30年度千葉県計画の策定並びに過年度計画の変更について
 - (4) 報告 ①平成31年度千葉県計画に対する事業提案状況について
②地域医療介護総合確保基金スケジュールについて
 - (5) その他
 - (6) 閉会

議事①平成29年度に実施した千葉県計画の事後評価について

○事務局から、資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5について説明

○主な質疑内容

(委員)

資料1-2について「介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合」が未改善ということだが、「目標①地域包括ケアの推進」におけるそれぞれの個々の目標値を見ると機能強化型訪問看護ステーション数が未改善、他の数値では達成もしくは改善傾向となっている。目標値の数値がほとんど達成・改善しているのに、「介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合」が下がるというのは、県民の意識がより高まってしまったのか。

また、「目標⑤介護施設等の整備促進」についても、同様に「介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合」が未改善であり、その他の具体的な項目についてもほとんどが改善傾向で未改善なのは認知症デイサービスセンターのみで、県民が暮らし続けられると感じるということと、実際の数値目標とにズレがあるということになってしまわないか。

(事務局)

県政世論調査等で、「介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合」を調査している。医療介護に係る計画においては、「地域包括ケアの推進」と「介護施設等の整備促進」の両方の指標として掲げている。目標の①の方は概ね在宅医療の関係を中心としており、個々の目標値については改善傾向がみられるところである。介護の施設整備についても同様に個々の指標について改善傾

向である。しかし、県民の意識というところについては、県政世論調査においてこのような結果が出た。当初平成27年に調査したところ40.5%だったが、平成29年に再度調査したところ34%に下がってしまった。その理由としては様々あるが、例えば介護してくれる人がいない、自宅がバリアフリー化されていない、見守りの体制が整っていない等の理由を掲げる県民が多かった。この背景としては、高齢化が急速に進んでおり、1人暮らしの高齢者、高齢夫婦の増加があるかと思われる。県としては、高齢者保健福祉計画、保健医療計画についても30年度に新たな計画を策定したところであり、引き続き介護施設の整備、介護サービスの充実、人材の確保等を進めながら、県民の意識も向上するよう努めていきたい。

(委員)

資料1-2について29年度、単年度の目標に対して、改善した、目標を達成できたかという資料のつくりになっていると思う。例えば2025年に向けての個々の項目をどの程度目指していくのか、最終的な目標は持っていないのか。26年度からの過去の数値を並べて、比較してどの程度達成している、向上して来ているのかという資料が必要なのではないか。単年度の達成具合で評価するのではなく、2025年などの最終的な目標に向かってどのくらい改善しているかチェックすることが必要なのではないか。

(事務局)

2025年に向けてということだが、今年度改定された保健医療計画、高齢者保健福祉計画において採用されている指標を参考に地域医療介護総合確保計画の目標値を設定しているところである。各々の計画の目標の年度について、保健医療計画が6年、高齢者保健福祉計画は3年の計画となっており、2025に向けた目標値の設定というのはなかなか難しいと考える。

指標の達成状況について経年的な把握については、今後資料の作成方法を見直し、指標の達成状況を経年的に把握できるようにしていきたい。

議事②平成30年度千葉県計画の策定並びに過年度計画の変更について

○事務局から、資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6、2-7、2-8について説明

○主な質疑内容

(委員)

資料2-6について、介護人材が不足しているなかで、人材不足を補える可能性があるとすれば、新しい異業種からの人材が入ってくれば一番良いが、それでも人材が不足しているなかで、外国人介護職員が増えてくる。予算規模をみると外国人受入施設支援事業100万円、外国人介護職員日本語学習支援事業155万円となっている。算出根拠、この金額でどのような事業をやっていくのか。

(事務局)

外国人受入施設支援事業について、新たな外国人に関する制度ができており、介護施設を対象に外国人を受入れるための説明会等を開催するための経費を計上しており、事業実施するための前段階の費用と

して考えて頂きたく、予算の規模としては適切かと考えている。外国人介護職員日本語学習支援事業については、当初技能実習生等の外国人を想定しており、今年度は20人程度を考えている。

なお、現状として宮崎県では中国人が2名入ってくるという情報があるが、千葉県では技能実習生が入ってくるという情報はない。外国人介護職員日本語学習支援事業については今後の動向を踏まえ、適正に実施してまいりたい。

報告 ①平成31年度千葉県計画に対する事業提案状況について

②地域医療介護総合確保基金スケジュールについて

○事務局より資料3、4について説明

○主な質疑内容

特になし。